

10・2 発車 市民の『足』あい愛バス・

（コミュニティバス）運行



車体はコンパクトで、人に優しいノンステップバス

車長は、わずか7 ですが、大型車と同一規格のノンステップバスです。外観は、赤色系のシンプルなデザインなので、遠くからでもすぐにあい愛バスとわかります。写真は、外装直前のバスです。9月はじめから、市内にお目見えします。

10・1 午前9時より美濃太田駅北口にて あい愛バス 出発式を開催します。

あい愛バスはこんなコミュニティバス

ノンステップバスです

最大の特徴は、ノンステップバス（路面から一段上がれば車内床面）で、しかも、停車中は乗降性を高めるように車体が5 低くなります。お年寄りでも楽に乗り降りができます。この車両は、萩市（山口県）について全国の自治体で2番目に導入するものです。定員35人乗り（座席数16、立席18、運転席1）



車いすでも安心です

乗り降りには便利な車いすスロープ板が付いており、移動中は車いす固定装置で固定されて安全です。（各車両一台分）



支払方法は

運賃の支払い方法は、現金またはバスカードでお願いします。



＊コミュニティバスとは
路線バスと乗合タクシーの間を埋める小型バスで、バス不便地域を運行する新乗合バスの名称です。

運行までの道のり

市は、第4次総合計画策定時の市民アンケートにより、「公共交通機関の整備」を重要課題の一つに位置づけ、基本構想の中でも、「公共交通機関におけるバス事業では、コミュニティバスなどの整備につとめ、地域の交通手段の確保につとめること」を盛り込みました。

また、その後の「コミュニティバスアンケート」から交通弱者の活動に利便性をはかり、みなさんに親しまれ、愛されるバス運行が求められてきました。こうしたことを踏まえて、10月からあい愛バス（コミュニティバス）を運行することになりました。地域のみなさんの足としてぜひご利用ください。

親しみやすい名称

コミュニティバスの名称 あい愛バス は広報などにより愛

称を募集したところ483点の応募があり、その中から最も優しさと親しみやすさを感じる作品が選ばれました。提案者は、伊深小6年生 藤田美佳さんです。

運行は、民間バス会社

バス車両2台やバス停留所施設は市が用意し、バスの運転業務や車両運行は民間バス会社が乗合路線免許を陸運局に申請して行います。こうすることにより運転業務などのプロが行い安全で円滑な運行ができます。

なお、運賃収入と運行経費の不足分につきましては、市が補助します。

バス停留所の標識も設置

市内全域に169カ所のバス停留所ができます。



運賃表

運賃	就学前	無料
	小・中学生	100円
	知的、身体障害者(手帳で確認できる人)	100円
	その他一般	200円
支払方法	○現金 ○あい愛バスカード ・販売場所→バス車内、総合福祉会館 市役所総合窓口 ・バスカード→(1) 900円 (バス料金1,000円分) (2) 1,800円 (バス料金2,000円分)	



お支払いは、便利でお得なバスカードをどうぞ！

お知らせ

- 1 路線図と時刻表は、9月15日号の広報みのかもに折り込み予定です。
- 2 9月25日(月)から9月30日(土)までは、時刻表どおり試験運行しますのでご利用ください。なお、この間は乗車料金は、無料です。
- 3 これまで福祉会館と各地域を結んでいた「福祉バス」に替わって、10月からは「あい愛バス」を運行します。

路線表

路線名	運行日	運行回数	起終点
市街地循環線	月～土	9便/日	美濃太田駅北口
太田・古井線	水・土	3便/日	美濃太田駅南口
山之上線	火・金	3便/日	美濃太田駅北口
蜂屋線	月・木	3便/日	美濃太田駅北口
加茂野線	月・木	3便/日	美濃太田駅北口
伊深・三和線	水・土	3便/日	美濃太田駅北口
下米田・牧野線	火・金	3便/日	美濃太田駅北口

市街の商店街や総合福祉会館なども乗り換えなしで行けます

あい愛バスは、各地域の路線から市街地循環線へ、または市街地循環線から各地域の路線を繰り返して運行するため、各地で乗車された人でも市街地の商店街や総合福祉会館へも乗り換えなしで行くことができます。

1日の運行数は、「市街地循環線」は9便で、その他の「地域線」は午前、昼間、午後の3便です。なお、地域線の運行方法は、つぎのとおりです。

- (1) 午前は、各地域線を運行し、そのまま市街地循環線に入ります。
- (2) 昼間は、市街地循環線を運行し、そのまま各地域線に入り、また市街地循環線になります。
- (3) 午後は、市街地循環線を運行し、そのまま各地域線に入ります。